

お仕えします
パチエリー様!



DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



……



ふー……

結構キレイに
なったわね……



霊夢
あんた神社は？

さあ
次の仕事は
何かしら？



それにしても、「JJ」で働きたい人間なんていたのね

給料安いのに

あなたが
「JJ」が

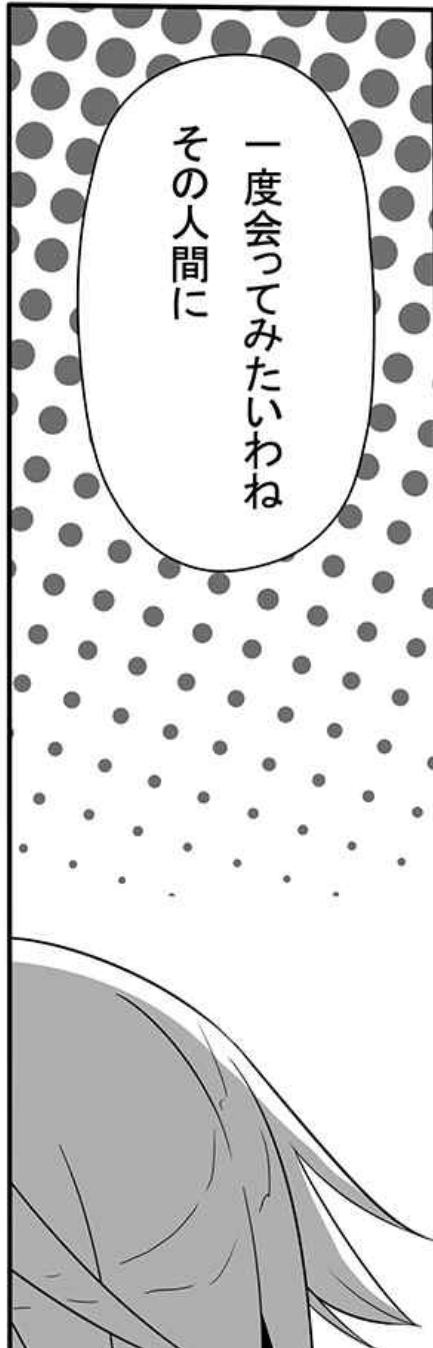
まあほんと使えない人間だったけど



あーいいいいの

どうせ誰も来やしないんだから

…ならいいけど



一度会ってみたいわね
その人間に



ちなみに
まだいるわよその人間

?
クビになったんじや
なかったの?

今はパチエが
雇っているのよ



そっか…
まだいるんだ

ふふ

! caution !

この同人作品はキャラ崩壊、世界観崩壊を多分に含みます。
あらかじめご了承くださいませ。

■あいさつ

パチュリー本の第2巻手にとって頂きありがとうございます。名瀬です。
これは「お仕えますパチュリー様！1」の続編です。そしてまだ続きます。
前回ちょっとページ数が少なかったなので、気持ち増やしたつもりです…気持ち(´ω´;) ;)
3巻ではもうちょっと分厚くしたいなあと思いつつ。

それでは本編の方お読みくださいませ～。
ツイッター等で感想など頂けると嬉しいのですよ。

■前回のあらすじ

紅魔館の激安アルバイトにただ一人応募してきた人間。
が、あまりにも役に立たないため即解雇。そこに被験体を探していたパチュリーが現れる。
人間を「(下僕)二号」と名づけ、さっそく魔法実験を始める。
しかしなぜか魔法を受けた二号が暴走、パチュリーの処女喪失。
夜の風呂場にて、主であるパチュリーの怒りを買った二号はゲンコツを受け気を失う。
魔法が解け、目を覚ますとそこに気付かずお風呂にきた咲夜が…。

登場人物紹介

小悪魔



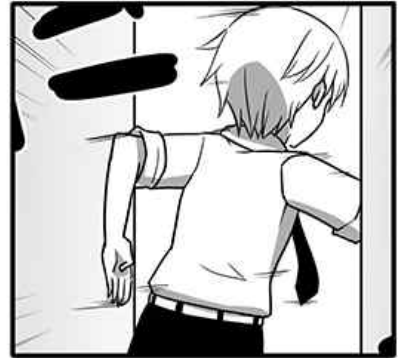
通称“こあ”。パチュリーに仕える下僕一号。おっぱい大きい。

パチュリー・ノーレッジ



本編のメインヒロイン。魔法実験のため、二号を自分の下僕に。おっぱい大きい。

二号くん



パチュリーの下僕二号。不器用人間。不死身っぽい。

ブランドール・スカーレット



地下牢の吸血鬼。妹。

十六夜 咲夜



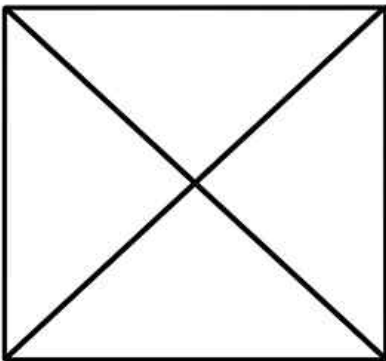
完璧で瀟洒なメイド。しかしその胸にはある秘密が隠されている…？

レミリア・スカーレット



紅魔館の主。プライドが高い。

博麗 霊夢



二号に代わって入ったアルバイト。二号に興味津々。

紅 美鈴



居眠り門番。太ももが最高。

※この作品に登場する全ての女の子が処女である。

…ん？

あ…ども…

…な…



え、えと…

あ、俺、
死んだ…？



びじ

ななっ!?





咲夜さんっ!?

ちよっ



うわっ

きゃっ

し……し……

え……?

……忘れなさい

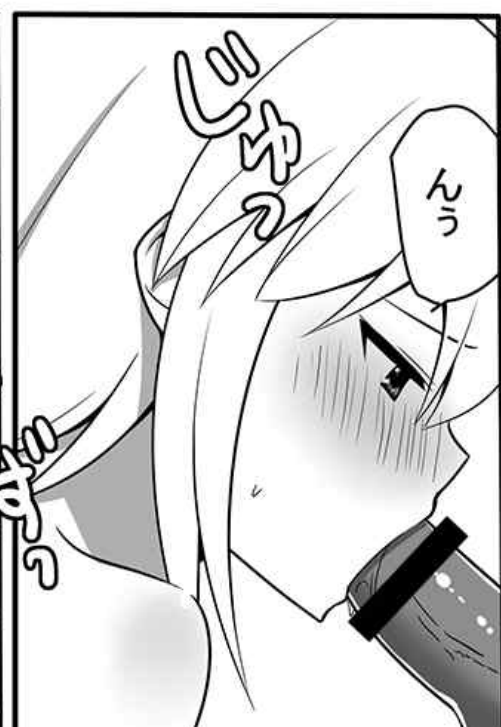
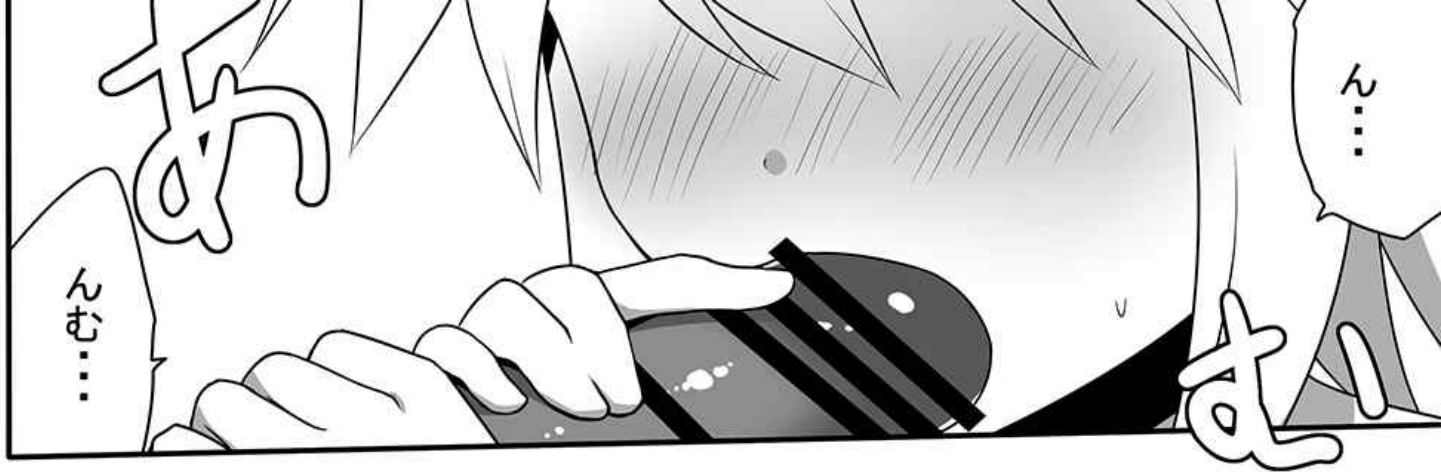


してあげるから
……今見たこと

……私が貧乳だったこと
お嬢様には内緒にして下さい

ひ、貧乳……?

うわ……

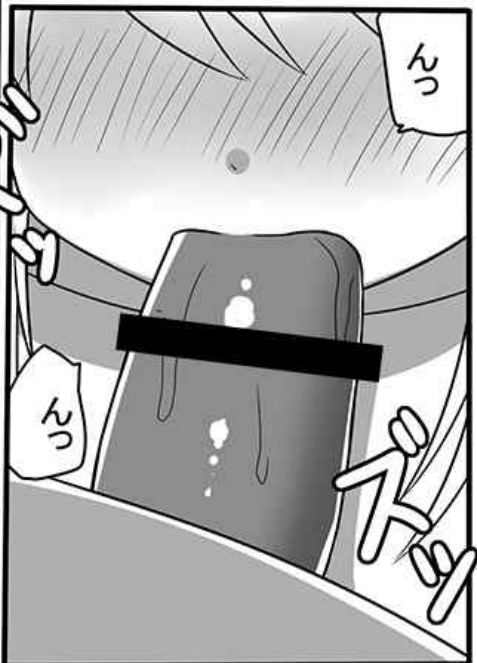




出るッ



さ、咲夜さっ



む、胸のよ...
絶対内緒にして下さいね

は...はい



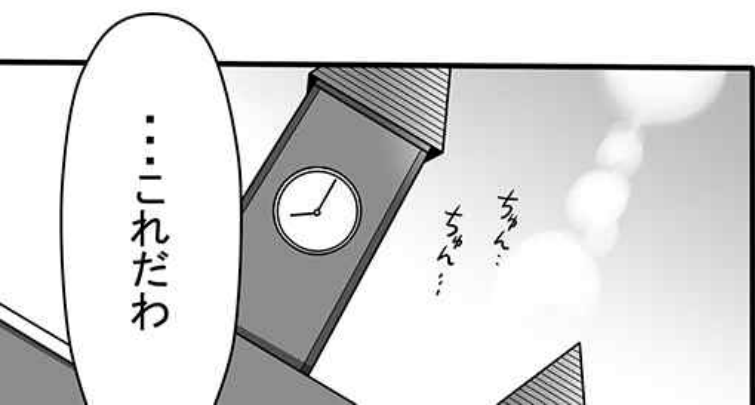
だ、大丈夫ですか!?

えほっ
えほっ



ん...

それより...



...これだわ

ちゃん...
ちゃん...



一人を三人に増殖
させる魔法……

これしかないわ！



……あれは
たまたま起きた事故よ

まさかあんな事に
なるなんて……

どうか



……なにこあ？
そのあきれたような顔は

いえその……
また魔法かけるんだ……と



貴方、主人を
置いて逃げるなんて
いい度胸してたわね

ひいひい……

まあ
そんな事より

あ、流してくれた

おはようございます

なにしろ試してみたい
ものが多くてね……

そこで

被験体を増やすって
方法にたどり着いたわ

……はあ

ん、噂をすれば……

さて二号くん

さっそくだけと貴方に
魔法をかけさせてもらおうわ

あ、了解です

じゃあそこに立って

はい

大丈夫かなあ……

……いくわよ??

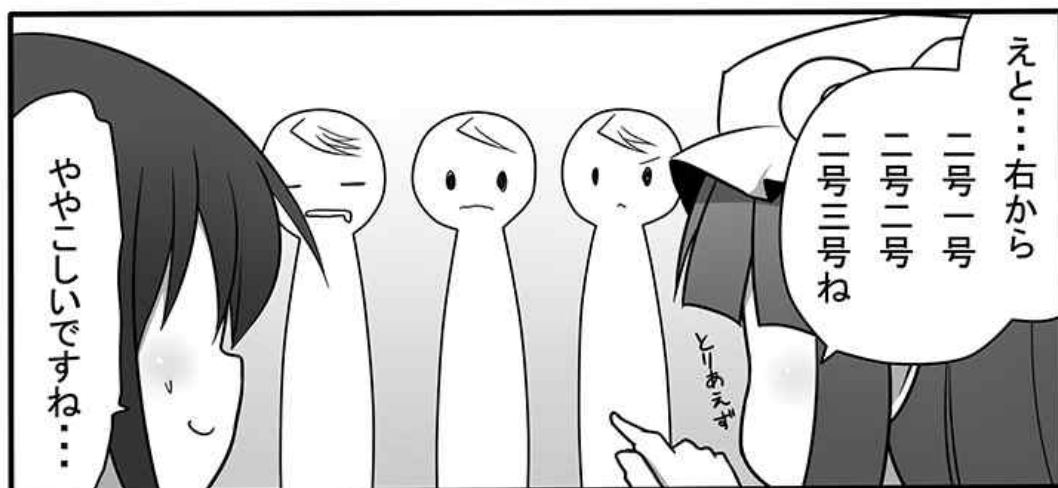
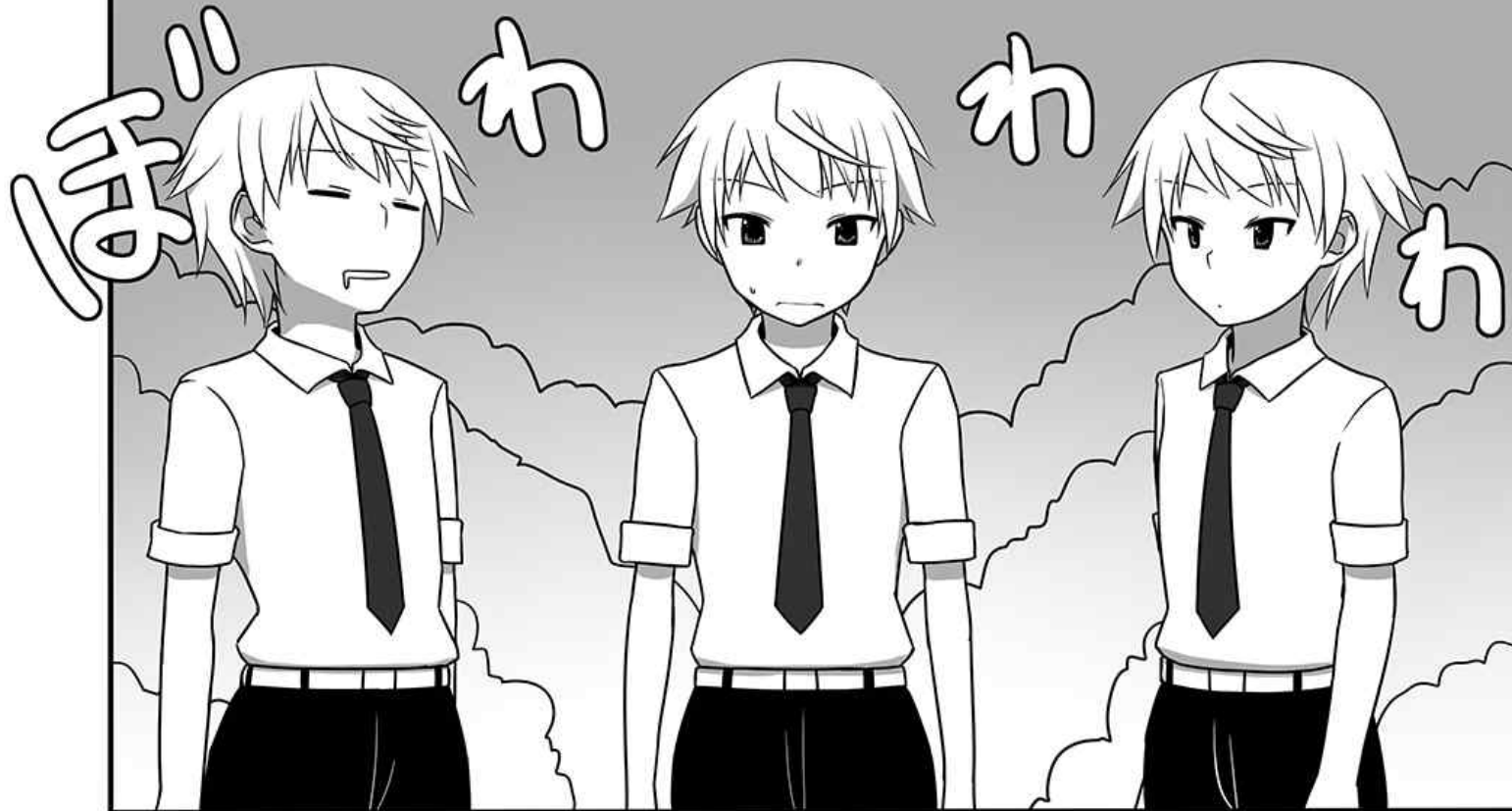
ゴクッリッ……

わわわ
ぽわ

お……お……

もじもじ

もじもじ





抱かせてくださいー！



え
えと...

ええと...
ええと...

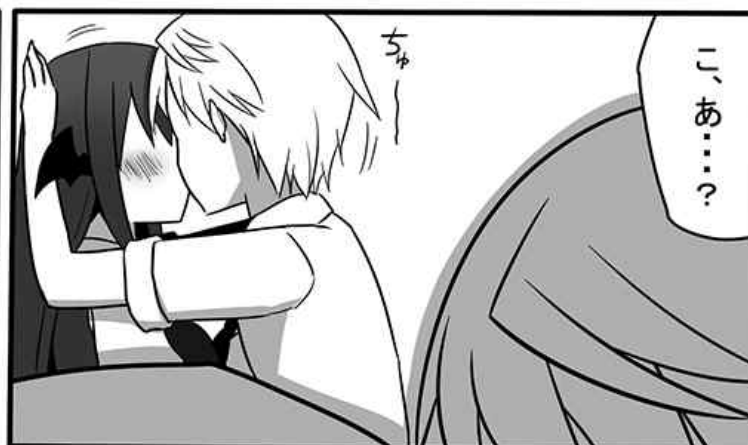


ってまだそこに
一人残って...



パチユリー様〜！

「あっ!?!」



ひゃあッ!?

ほっ

おっほい...好き...

知らないわよ!

な、何してっ...

ちゅっ

ひゅっ

やっ...

やめ...

びゅんっ

あ、
ひゅっ!?

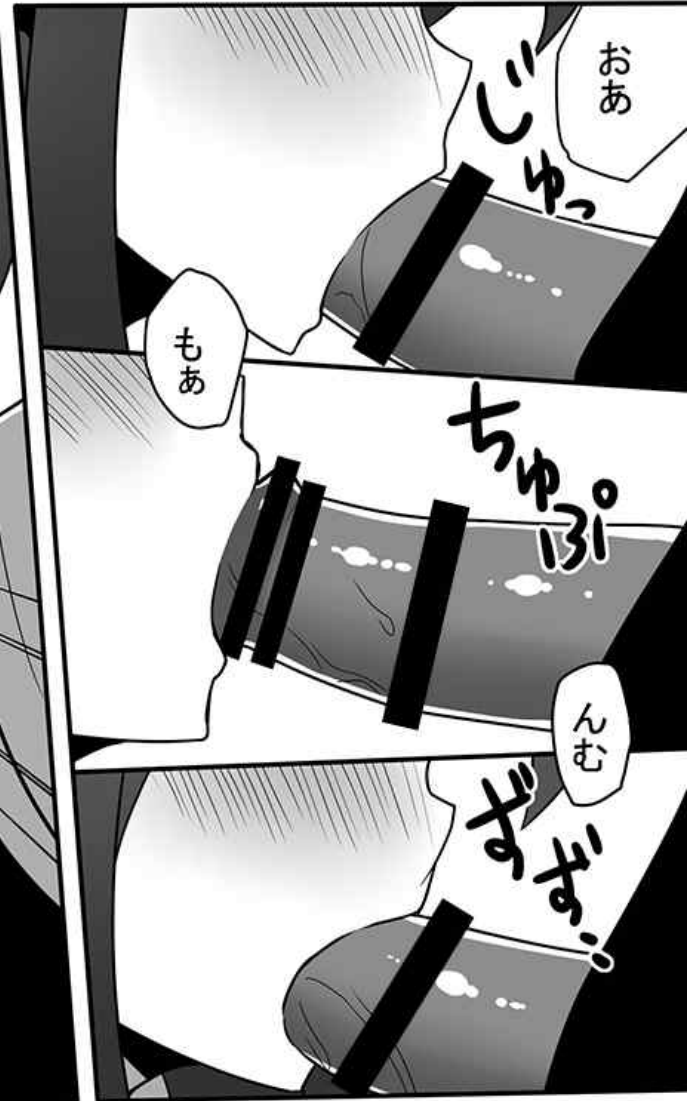
がッ





…はう

えい



おあ

いっ
やっ

もあ

ちゅ
び

んむ

す
す



パチユリー様…

ゴクリ…



えっ

えほっ

なにか出ました…っ



またこんな...

私のご主人様
なのに...

くう...

おは

ん



ひびく

あ

ちゅぽ



...に、二号さん...



パチュリー様っ

くう

あ、ちよう



ひぐっ!!

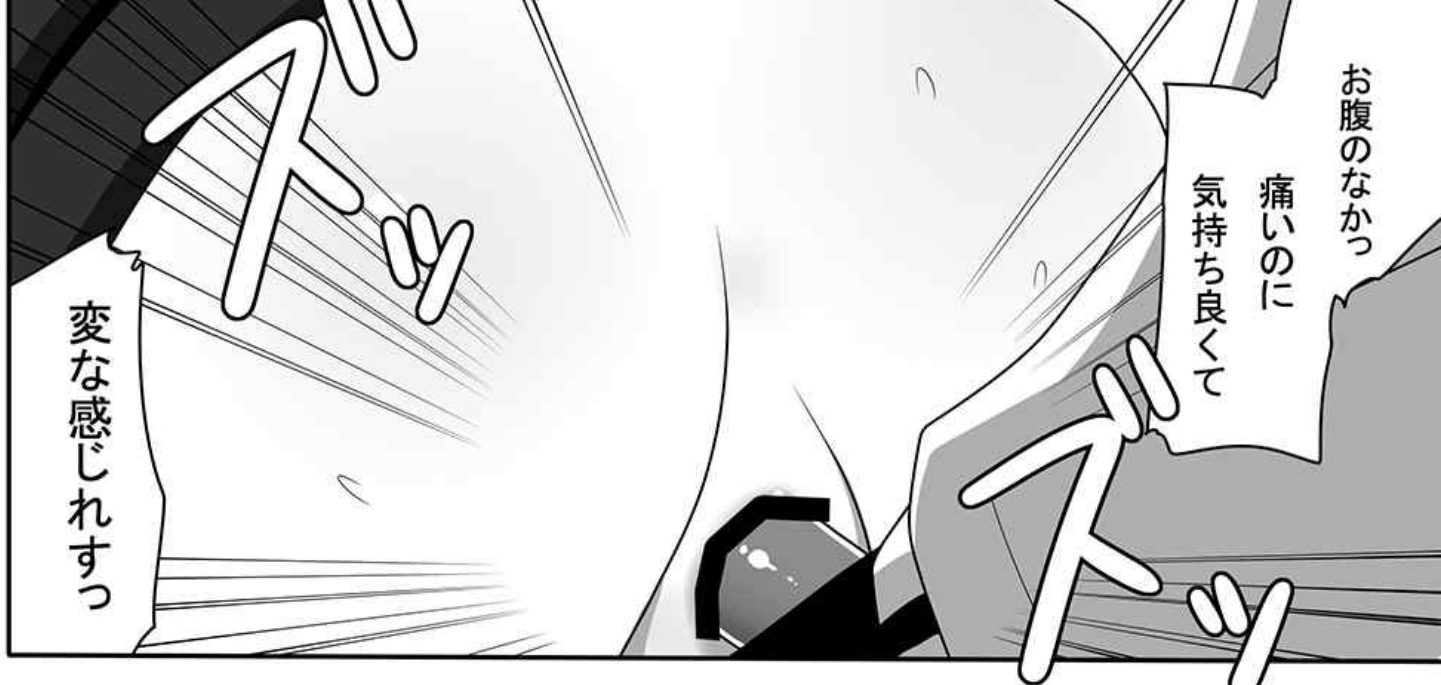
!! ひぐっ!!

黒く塗りつぶされた領域

黒く塗りつぶされた領域

ひぐっ!!





お腹のなかつ

痛いのに
気持ち良くて

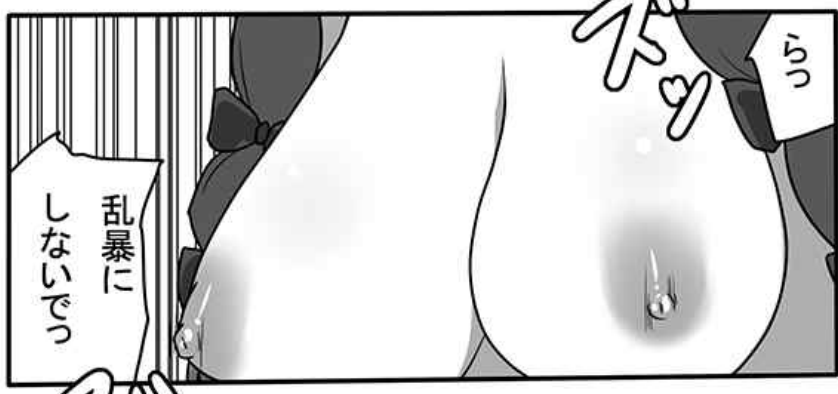
変な感じれすっ



は

やっ

ん



乱暴に
しないでっ

ん



はッ

魔法かけて二号くんが暴走して……
これじゃ昨日と全く同じ……



んっ

ん



はっ

んっ

あ

やあっ

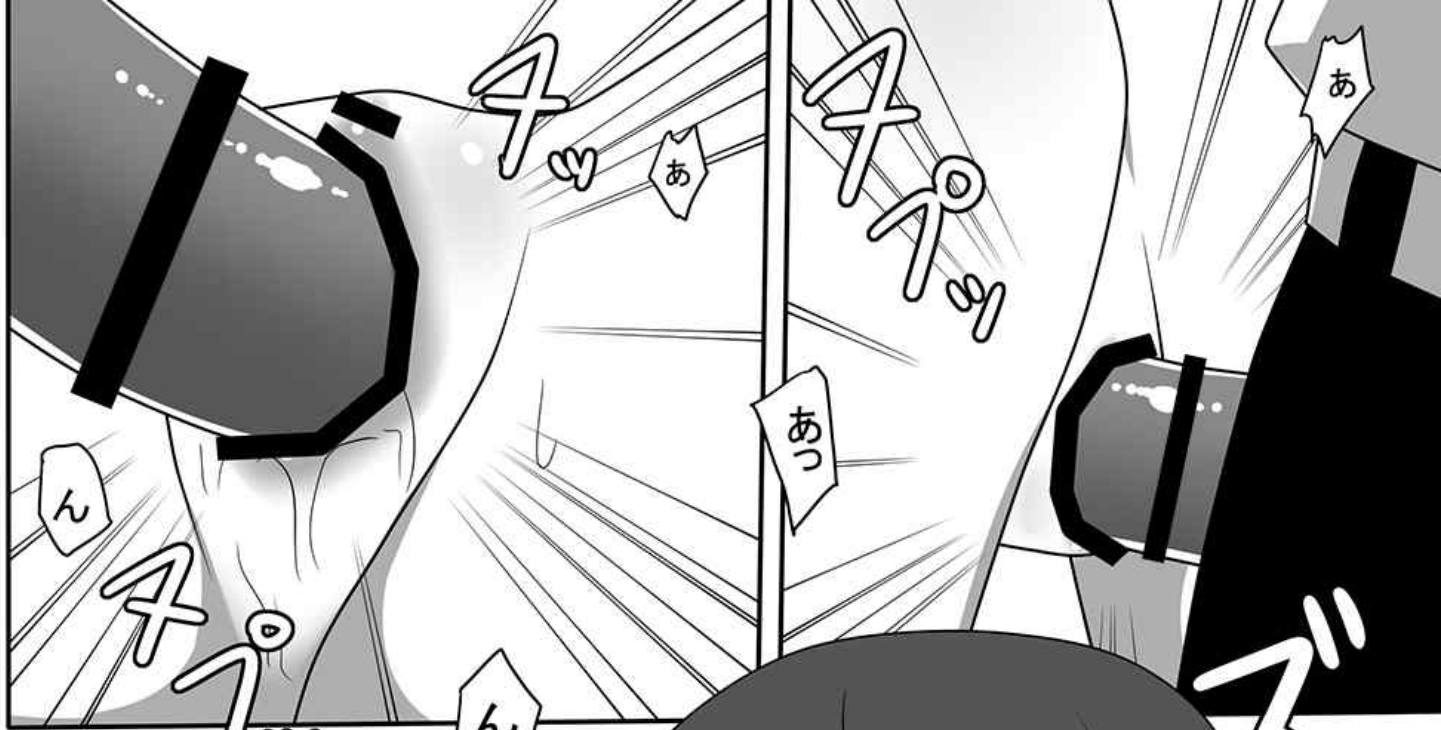
んっ

こ、こんなに大きいのが
奥まで入って...

熱いのが
出たり入ったりしてますっ

何っ
何ですかこれえっ

んっ



何かきちやう

何かきちやう

あッ……



んんッ

30

ん



あああッ

ん



…何か用かしら？

ほ



一方その頃—

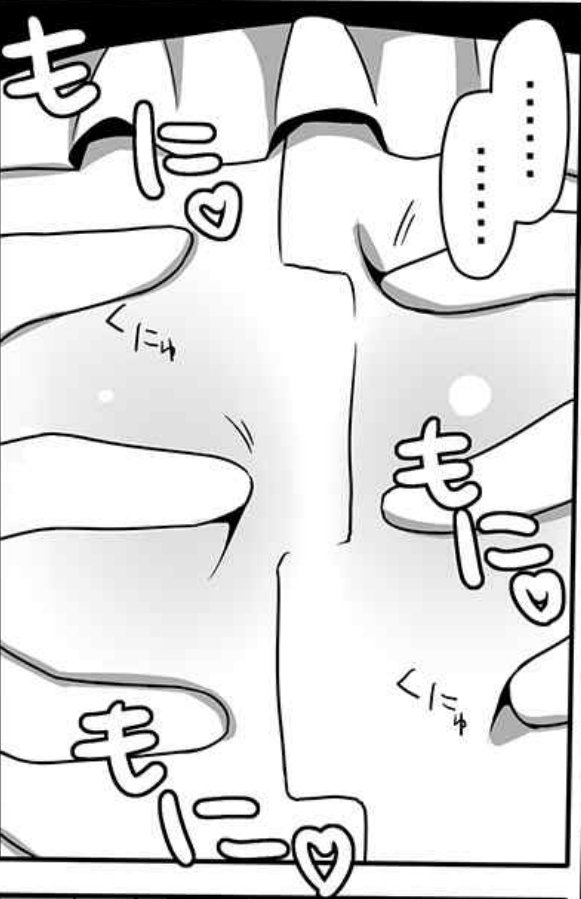
人間

貴方を呼んだ覚えはないのだけれど？

雇い主はパチエなのだから
用があるならパチエか...

...第一

それか咲夜を
通してから...



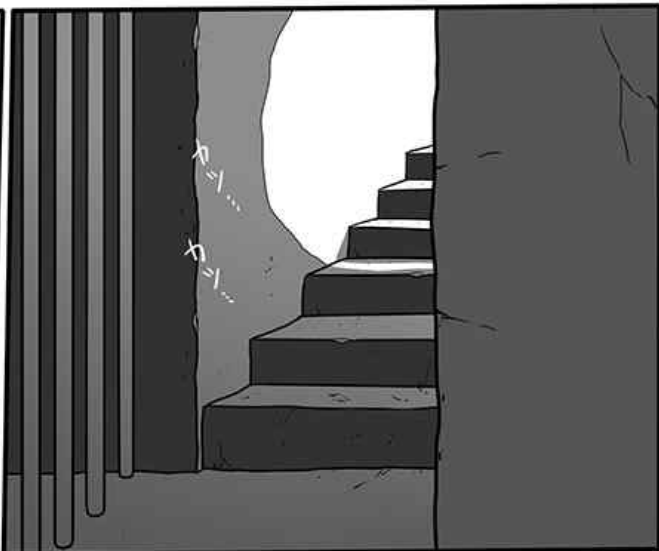
いぢあああああ！





…パチエの下僕じゃ
なければ即死刑だったわ

主に感謝することね…



…フランドールお嬢様



そう……ですね

でなければあんなに
無理矢理私の処女を……

私の……

その事だけど彼には
内緒にしていってくれる？



内緒……ですか？

ええ……まだ憶測でしか
ないんだけど彼、

暴走してる間の記憶を
失っている可能性があるわ

ええっ!?



じゃあ私と……その
した事も……？

おそらく
忘れるでしょうね

まあまずは
彼を探さないと

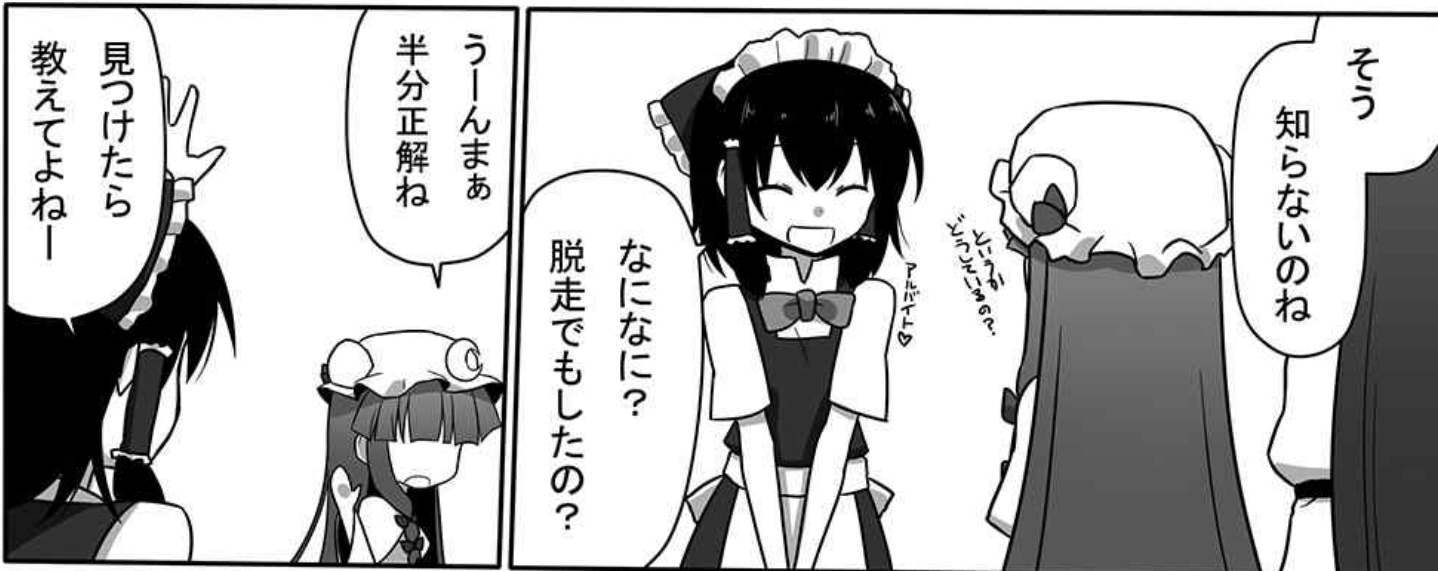
この二人が消えた
ことは

つまり……





私も会ってみたいのよね



見つけたら
教えてよねー

うーんまあ
半分正解ね

なになに？
脱走でもしたの？

そう
知らないのね




…ないわね

他に彼の行方を
知ってそうなのは…



二号さん……ですか？




ええ、彼がどこにいるか
心当たりはないかしら？



パチュリー様は
雇い主ですものね


わかりました



……彼は今
レミリアお嬢様の命により

地下牢に
幽閉されております

!?



ち、地下牢って
まさかそんな……

……

ありがとう咲夜

だいたいの事情は
察したわ

パチュリー様
マジか？

部屋に戻るのよ

そんな、二号さんは...

もちろん助けるわ

魔法のせいで

こうなったんだもの

彼が壊される前に
なんとかか...ね

あれ、"J"は...?

...ん

...

...ん

...



私はフランドール・スカークレット

あなたはだあれ？



あ、起きた



…君は？

羞せ…

うふふ…



部屋…？

こんな頑丈な鉄格子…
もしかして…

そんなオモチャに
意味なんてないわ

え？



自分は…
二号と呼ばれています

そう、二号…



それより
…は…

…は
私の部屋よ

だって

触っただけで
すぐ壊れちゃうんだもの

ただの飾りよ

……

でも壊すとお姉様に

怒られちゃうし いつも

「」でおとなしくしてるの

だから毎日が
退屈で

……ねえ、あなたは
人間なのよね？

あ、はい……

私、お外に

出られないから

人間に会うのって
久しぶりなのよね

……だからとても
うずうずしてるの

……ねえ



あなたは

簡単に壊れたり

しないよね・・・？



ぞぞ
...

・・・これだわ！



姿形を変えてしまう
変化の魔法…

これしかないわ！



…今回は大丈夫よ
姿形を変えてしまう訳だから

…どんな姿に
変えるおつもりですか？



…なにこあ？
いつか見たような顔をして

いえその…
やっぱり魔法なんだ…と



おん…な…？

そそ



女の子よ

!?



はっ

それいいですねっ！
ぜひ女の子にしましょう！

そ、そう…？

賛同を得られて嬉しいわ…



女に変身させてしまえば
メイドの一人だって
ごまかしも効くし
二号くんが暴走
したとしても女なら…



…さて

一刻も早く
彼を助けにいかないかね…



…って「あ？」

パチュリー様…そ…

この度はこの本を手にとってください、まことにありがとうございました。

本当はもう少し早く出す予定だったのですが、なんやかんやありまして、少し遅くなってしまいました。すみません…。

次回3巻は紅樓夢までになんとか出したいと思ってます(´ω´)

1巻はパチュリーのエロだけでしたが、紅魔館メンバーが色々出る中、他の子に手を出さないなんてもったいない！といった感じで2巻は他の子たちにも手を出してみました。3巻でもおそらくそういった流れになるのではないかと思います。

もちろんパチュリー本なのでパチュリーメインですが！

それでは今後とも何卒、7センチをよろしく願い致します。名瀬でした！

■メイドの霊夢ショートストーリー

霊夢は嘆いた。参拝客は来ず、酒飲みばかり集まるこの神社。

落ち葉と小石だけの賽銭箱に、足が3つしかないちゃぶ台と欠けたお茶碗。

明日の事を思うとため息しか出ないそんな時、一枚の紙切れが空から落ちてきた。

「紅魔館メイドアルバイト募集」

すずめの涙ほどの給料であったが、霊夢は心の底から破顔した。

そう、昼食にメイド長からのまかないがあるというのだ。

こうしちゃいられないとばかりに、紅魔館の門をくぐり(鼻風船の美鈴)、面接官咲夜の元へと駆け込んだ。

もちろん、アルバイト希望が霊夢だけだったことは言うまでもない。

奥付

「お仕えますパチュリー様！2」

発行日 2012年5月27日

著者 名瀬

サークル 7センチ

印刷 ねこのしっぽ様

サークルHP

<http://nanasenchi.x.fc2.com/>

メール

Copyright © 2012 7センチ

おっぱちゅ
2巻

7センチ